

■野村胡堂(あらえびす)

のむらこうどう
新体詩抄・・・1882＝

小説家，評論家。{報知新聞}で特別待遇，「銭形平次捕物控」連載と，音楽評論の二足のワラジ。

岩手県彦部村で，近隣の村長も兼ねる次男に生まれる。本名長一。兄は夭折していたので実質長男。

帝国憲法發布1889＝ 7歳：

足尾鉋毒始・1891＝ 9歳：

自宅の屋敷の全焼に遭遇し，生涯の心の傷となる。
この間，学校が一時廃され2年遅れる一方，初めて蓄音機に触れ，不思議な体験。
弟が誕生，父に提案し，耕次郎と名づけられる。

郡司千島探検1893＝11歳：

日清戦争始・1894＝12歳：

家の蔵書を読み漁るとともに，絵描きも志し，「自宅の土蔵」を描く。

白馬会・・・1896＝14歳：

岩手県尋常中学校に入学。米内光政・金田一京助・石川啄木らと同級となるが，発病し1年自宅療養。
金田一から”あらえびす”の渾名をつけられ，回覧雑誌を出し，蒐集マニアの芽も吹き出すなか，橋本ハナを見かけて恋心が燃え上がる。

ピアノ国産化・1900＝18歳：

夏休みに結社同人らと俳諧旅行。

田中正造直訴1901＝19歳：

中学校同級に推されてストライキの委員長格になると，整然とした論理と配慮で成功に導く。ハナに思いを

教科書疑獄・1902＝20歳：

打ち明けるも，自らには既に許婚がいて父に激怒され，ハナの家でも許されず，ついに父の意見で，
医者受験を条件に，卒業とともに，上京。たちまち都会文化のとりこになり，勉強そっちのけで，歌舞伎な

日露戦争始・1904＝22歳：

などに病みつきになり，西洋音楽にも出会い，あちこち下宿を転々とするうち，
尊敬する新渡戸稲造の講演を聞いて目覚め，猛勉強，第一高等学校に合格し，入寮。県人会でハナと再会，
将来を誓い合い，中学同窓会理由に帰郷するも，なお許されず，

日露戦争終・1905＝23歳：

どうしても医者に向かないと，父の許し得て，帝国大学法科大学に進むも，アカデミズムに辟易。

韓国反日暴動1907＝24歳：

どうしても医者に向かないと，父の許し得て，帝国大学法科大学に進むも，アカデミズムに辟易。

アヲヲ創刊・1908＝25歳：

ついに許婚との協議離婚が成立するが，父が緬羊事業に手を出して失敗し，

教科書疑獄・1902＝26歳：

野村家が破産，その際の父の潔さに感動，父が日本女子大生になったハナと面会し，結婚も実現するが，

伊藤博文暗殺1909＝27歳：

生活費稼ぐのもやっとのなか，ハナは実家から勘当され，父が死去するというもの入りも重なり，

韓国併合・・・1910＝28歳：

学費滞納の延期期限も切れ，中退。

大逆事件判決1911＝29歳：

長女淳が誕生，正式に婚姻届。ハナの親友長沼(高村)智恵子も度々来訪。何とか定職につかねばと，

明治天皇没・1912＝30歳：

朝日・中央2社の紹介を受けるも，偶然出合った旧友の誘いで，報知新聞に入社，すぐに頭角を現し，

大正政変・・・1913＝31歳：

長男一彦が誕生。_抜擢され，連載インタビュー「楯の半面」を任せられて，ヒットするも，

第一次大戦始1914＝32歳：

_単行本化され処女作「人類館」になるや，相手だった一流作家らから抗議が殺到，ついに筆止めになる。妻
ハナは日本女子大付属高等女学校教諭となって収入もアップ，自らのボーナスは野村家債権者の返済に当て
，給与は蒐集に自由に使えるようになる。レコードが到来すると夢中になり，西洋音楽家についての本探し
にのめり込み，エッセイも書き始める。

民本主義・・・1916＝34歳：

次女瓊子が誕生。井深さわに世話になり，その子大との親交も始まる。

ロシア革命・1917＝35歳：

_社会部長になる。時事川柳欄を設けてヒット。

本格政党内閣1918＝36歳：

徳島の捕虜収容所でドイツ兵が第九交響曲を演奏したことが縁となって，徳川頼貞との親交始まる。

大暴落・・・1920＝38歳：

ハナの勘当も許される「故郷への旅」。三女稔子が誕生。

原敬首相暗殺1921＝39歳：

水平社結成・1922＝40歳：

_不況で部数が減少したことから，筆止めが解除され，新聞小説を書くよう求められるも，不評で打ち切り
となるが，あらえびすの名で芸術評を書き始め，以後，本業の方もやわらかいものに転換，

関東大震災・1923＝41歳：

新聞小説「大東京」。クライスラー来日で通いつめ，大患，以後，煙草を止める。_震災報道に集中後，復興

護憲三派圧勝1924＝42歳：

の人たちを励まそうとしたレコード音楽解説が好評，時事川柳も好調，第九交響曲レコードを入手，
_*その絶賛評を載せるや，感動の手紙が殺到，以後，クラシック音楽記事欄ができ，社長から特別賞。囁託

治安維持法・1925＝43歳：

で入社した棋士木村義雄とも親交。編集局相談役の辞令受け，出社せずに執筆に専念できるようになる。

円本時代始・1926＝44歳：

_レコード専門店名曲堂の月刊パンフレット「名曲」始。報知新聞に「太郎のたび月世界のたんけん」連載し，

金融恐慌・・・1927＝45歳：

_単行本「月世界探検」に。「火星探検」連載。以後，次々連載。

共産党事件・1928＝46歳：

長女淳の結核が悪化し，転地療養するも，死去。_「奇談クラブ」に連載して注目され，
長男一彦の結核悪化で転地療養，ハナが退職を決意。_講談社の「文芸倶楽部」{少女倶楽部}{少年倶楽部}に

世界恐慌・・・1929＝47歳：

執筆，以後，次々執筆。{報知新聞}に「美男狩」連載し単行本に。同志とレコード評論誌を創刊し好評。

満州事変・・・1931＝49歳：

_初めてラジオで西洋音楽解説。
_*{オール読物}創刊に際し，依頼されて捕物帳シリーズ「銭形平次捕物控」を発表，大ヒットとなり，映画化

五一五事件・1932＝50歳：

文学全集に初めて作品が収録され，あらえびすの名で音楽処女作「蓄音機とレコード通」を出版。

国際連盟脱退1933＝51歳：

父の残した借金も完済。_長男一彦の文も合わせた「バッハからシューベルトまで」はベストセラーに。

帝人疑獄事件1934＝52歳：

軽井沢に別荘を建てる。_「報知新聞」連載の「三万両五十三次」も絶賛され，確立。

二二六事件・1936＝54歳：

長男一彦が死去し，畢生の名随筆「救世主の思い出」。次女瓊子も病状悪化で，日本女子大を中退。
次女瓊子の傑作「七つの蕾」が完成。母が死去。_文学雑誌トップの「日の出」にも連載するも，二二六事件の

日中戦争始1937＝55歳：

煽りで，{報知新聞}連載「轟半平」が中絶。

健保+総動員1938＝56歳：

「池田大助捕物帖」を書き始め，その第一作に火事場の描写。自費出版「七つの蕾」がベストセラーに。

第二次大戦始1939＝57歳：

この年，高村智恵子が死去。「古典音楽」「ロマン派の音楽」も好調。

大政翼賛会・1940＝58歳：

新居が完成。_畢生の傑作「名曲決定盤」が完成し出版。NHKラジオにも盛んに出演。

日米開戦・・・1941＝59歳：

年明け早々に，次女瓊子が死去し，名随筆「瓊子と野薔薇」。同志と豪華本「珍品レコード」刊行。

・・・1942＝60歳：

_戦時統制で{報知新聞}が消えるのに合わせて，退社。

創価学会検挙1943＝61歳：

「池田大助捕物日記」。なお，単行本出版や舞台上演などが続いていたが，

年金+総武装1944＝62歳：

_戦局が進み，ついに注文途絶え，軍発行誌に執筆，軍幹部がなじる内容ながら，戦地の兵士には大受け。

敗戦・・・1945＝63歳：

敗戦後，

新憲法公布・1946＝64歳：

「紙上音楽会」出版。_*「銭形平次捕物控」連載も復活。皇太子に音楽話を進講。

新憲法施行・1947＝65歳：

井深大の始めた東京通信工業を資金面で支援。_早くも，書き下ろし・復刊合わせて43冊も出版され，

三大事件・・・1949＝67歳：

作家の長者番付で5位。捕物作家クラブを結成し，会長となり，

独立回復・・・1951＝69歳：

そのメンバーで，リレー連作。

マデーラ事件・1952＝70歳：

_戦時統制で{報知新聞}が消えるのに合わせて，退社。

TV放送始・・・1953＝71歳：

「乞食大名」。米軍による軽井沢演習地化に反対運動し成功。「銭形平次捕物控」全集刊行後も，

自衛隊発足・1954＝72歳：

「銭形平次捕物控」に，かつての火災記憶を描く。_右目の白内障の手術するが，左眼も悪化し，

国連加盟・・・1956＝74歳：

「たばこの煙」

なべ底不況・1957＝75歳：

_「たばこの煙」

インストメン・1958＝76歳：

_*{オール読物}に連載し続けた「銭形平次捕物控」を，総計383編のところで，ついに止める。

安保闘争・・・1960＝78歳：

_菊池寛賞。

タイタイ病始・1961＝79歳：

_紫綬褒章。

TV宇宙中継始1963＝81歳：

_口がもつれるようになり，

_私財1億円を投じて野村学芸財団を設立した後，没した。

藤倉四郎「バッハから銭形平次」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，